

# 野外バスケットボールコートに関する陳情

## 趣旨

だれでも、いつでも気軽に使える舗装された野外バスケットボールコートの設置を要望します。

## 理由

### 現在、太宰府市には使いづらい室内コートしかありません。

「太宰府市には室内のコートがたくさんありますのでそこを使用すれば良い」と簡単に思う人はいると思います。しかし、放課後に友達とちょっとバスケしようと思っている子供たちのことを考えて見て下さい。まず、体育館まで行っても予約が入っていて使えない可能性が高いです。奇跡的に空いていても大人の同伴が必要です。また、ジーンズと普通の靴は禁止。それに1時間300円取られます。まず、子供には無理だと思います！朝早く起きて学校やお仕事に行く前にシュートの練習をしたい社会人、高校生、大学生のことも考えて下さい。体育館は9時にしか開きません。県大会など開催できる立派な体育館はありますが残念ながらほとんどの市民には使いづらいです。

舗装されたコートは確かに一か所(北谷運動公園)ありますが山の中で車でしかアクセスできません。砂の上で出来ているところも2,3か所あるかもしれませんが足が滑るので危なくて使い物になりません。バスケットボールについて知らない人が設置したに違いありません。

### コミュニティの交流が少ないです。

日本に住み始めてすぐに気づいたのは日本人は近所に住んでいる人のことをほぼ知りません。狭い場所にこんなにたくさんの方が住んでいるのに交流はゼロに近いです。

私の実家のアメリカのユタ州では家の前の駐車場にバスケのゴールを置いている家庭は珍しくありません。放課後や週末に子供たちが自然に集まって日が沈んでも暗闇の中で遊んでいる光景を良く目にします。しかし、重宝するのは子供だけでではありません。去年、韓国の済州島に遊びに行きました。ホテルの横に大きな広場があって、バスケのハーフコートが6面、バレーボール1面がありました。昼間は人が少なめでしたが日が沈んでライトがつくと若い人も大人もぞろぞろ集まりました。ボールもバスケット用のシューズも持っていませんでしたが行ってみました。すぐに声かけられてピックアップゲームに参加しました。10分経たない内に10人と知り合うことが出来ました。中には日本に留学経験があるモンゴル人と中国人もいました。一生忘れられない経験でした。こういう光景もぜひ太宰府市でも見てみたいです！

### コミュニケーション能力の向上と不登校防止になります。

日本のどこでも問題になっているのは子供のコミュニケーション能力の低下です。外に行かずに一日中部屋でテレビゲームをやっている子が非常に多いです。他の子供と上手くコミュニケーションできなくて不登校になる原因になります。学校以外に他の人と接する機会が必要です。一緒に喜んだり、怒ったり、怒られたり、褒めたり、褒められたりするの大切です。スポーツは最適ですが日本のお金を払って正式なチームに入らないとなかなか経験できません。しかし、正式なチームだとコーチが上手な選手しか試合に出さないのもその他の子はつまらなくてやめてしまう。とても残念です。

### 土地の有効活用できます。

洗出交差点の横の空き地(バイパスの橋下)は非常にもったいない！野外のバスケコートには最適です。上は橋なので雨が降っても使えます。もともと電車が通っている場所なので騒音は問題になりません。同じような土地をコートにしている市がたくさんあります。歴史スポーツ公園に「休憩広場」という空間がありますが人が休憩しているのを見たことがありません。ここもコートに適しています。普通の公園のように草むしり、草刈、植木の手入れ、遊具の点検などにお金を使う必要がなく維持するのは簡単です。現在活用していない土地を使って、野外バスケに詳しい人と相談すれば超低価格でできるはずですよ。

令和2年2月20日

太宰府市議会議長 殿

太宰府市吉松

ホールドストック・クレイグ



## 場所

- 第一候補→ 洗出交差点の横の空き地(バイパスの橋下)



- 第二候補→ 歴史スポーツ公園の休憩広場



- 第三候補→ とびうめアリーナの駐車場





他の市は以下のようなコートを作っています。↓



新横浜公園

